

コンサルの「人間力」を發揮

アポプラスステーションは、女性薬剤師向け「マ
マ薬（ヤク）」や男性薬剤師向け「オレ薬（ヤク）」
のウェブサイトで転職支援を行っていることで知
られている。昨年度には採用・研修グループを立
ち上げ、コンサルタンの育成に注力し始めた。

知識と経験で薬剤師、薬局両方の「気持ち」を熟
知したコンサルタンの「人間力」による転職支
援活動の展開は、他社との大きな差別化につな
がっている。MJ事業部採用・研修グループの園
田ゆきグループ長に聞いた。

アポプラスステーション

同社では、2017年
度には採用・研修グルー
プを新設している。その狙
いは、単に転職における
情報マッチングでサポー
トするだけでなく、個々
の要望や課題に対して的確
に理解できるスキルを備
えた「コンサルタン」を
育成することにある。

「この業界では、しっ
かりとした知識や経験に
基づかず、意欲や情熱、
勢いに頼ってきた傾向が
ある。また、働き方改革
の推進など労働環境も大
きく変わってきており、
それらを踏まえ、これか
らは真の現場感を身につ
けた薬剤師専門コンサル
タンの育成が必要だ」



園田氏

と指摘した。
コンサルタント育成の
教育研修体制で最も重視
しているのは、地域ごと
の現場力である。そこで
グループ内薬局と連携
し、薬局リアル研修を開

始した。「これは、コン
サルタンが2日間にお
たって、現場で実際に業
務に携わって経験するこ
とで、何が問題となっ
ているのかが見えてくる」
という。

薬局リアル研修を体験
することによって、転職
を希望している薬剤師の
職場・就労条件というこ
れまでの表面的な情報の
みでなく、「薬剤師の気
持ち」が分かるコンサル

タントになったことは大
きな強みとなっており、
営業面においても効果が
現れているようだ。今後
も、年1回は地域や薬局
を変えて繰り返し実施し
ていく方針である。

医療系の仕事は、当然
ながら各種法律の知識が
必要となるが、同社では
オリジナルeラーニング
を実施している。派遣勤
務者には研修が必須とな
ったことから一般的なe
ラーニングで対応して
いたが、この4月から
は「薬剤師生涯研修の指
標項目」に沿ったプログ
ラムにリニューアルを行
い、調剤実技研修とのタ
イアップも実施する。

アポプラスステーションは、いち早く女性が多
く占める薬剤師という職
種の特性に着目して、10
年から「ママ薬をスター
トさせている。これは女
性薬剤師の課題である結
婚・出産・育児を経てか
らの復職を強力にサポー
トするウェブサイトであ
る。その後、さらにステ
ィアップを目指す薬剤師
を支援する「プチエリー
ト薬剤師」、16年には男
性薬剤師向けの「オレ
薬」はネット上での検
索ワードとして定着して
おり、これからも「オレ
薬」と共にさらなる普及
を目指す考えだ。

転職業界では、スピー
ドと効率化を図るため、
顧客と転職希望者から収
集した各種データにより
採用マッチングを行うこ
とが多くなり、最近では
AIを使うところまで出
現している。

園田氏は、「人間力と
AIによる転職支援は、
うまく共存していくこと
が必要だと思う。単なる
情報のマッチングだけで
は、転職後のライフプラ
ンが見えてこない。本当
に実効あるように、薬局
側と薬剤師両方の「気持
ち」が分かるコンサルタ
ントを展開していきたい
。研修によって現場を
知っているからこそ、ス
キル・キャリアアップ、
ライフプラン、働き方
で含めた深い情報を提供
できることは強みであ
る。特に、女性特有の悩
みに対しても相談できる
コンサルタンの育成を
加速させていきたい」と
抱負を語った。